



のびのこちゃん

横浜市立竹山小学校 学校だより

あ お だ け



たけまるくん

令和5年4月28日 4月号

スタートカリキュラム～幼保小連携～

こうちょう いまむら きみこ
校長 今村 公子

しんりよく め あざ きせつ ふじ はな さ
新緑が目鮮やかな季節になり、まちは藤やつつじの花が咲きほこっています。

さて、1年生が入学して間もなく一か月が経ちます。幼児期は、遊びを通して小学校以降の学習の基盤となる芽生えを培う時期であり、小学校においては、その芽生えをさらに伸ばしていくことが必要とされています。そのためには、幼児教育と小学校教育を円滑に接続することが大切です。そこで、1年生の子どもたちが安心して学校生活を送ることができるように、友達と仲よく過ごせるように、「スタートカリキュラム」を実施しています。

スタートカリキュラムは3つの時間帯に分けられています。「なかよしタイム」は、幼稚園や保育園での過ごし方のように遊びを通して安心して過ごす時間、「わくわくタイム」は、子どもの興味や関心をもとに、生活科を中心として様々な教科につながりを持ちながら学ぶ時間、「ぐんぐんタイム」は、意欲を持続して各教科の学習に主体的に取り組む時間です。

子どもたちは登校すると、朝の支度を済ませて、視聴覚室に行きます。「なかよしタイム」の時間です。ここでは、折り紙をしたり、カラーコップを積み上げたり、思い思いに遊びます。自分でやりたい遊びをします。そのうちに「一緒にやろう。」「仲間に入れて。」など、仲間が増え子ども同士のかかわりができてきます。そして、時計を見て時間になると、気付いた子から「時間だよ。」と声がかかり、みんなで片付けを始めます。「教室に戻るときは忍者で。」と言い、静かに廊下を歩いていきます。「わくわくタイム」では、「校長先生のお部屋はどこにあるのかな。」「タケマルくんやのびのこちゃんに会いに行こう。」と、学校探検をしています。「ぐんぐんタイム」では、自分の名前を書いたり、絵を描いたりしています。子どもたちにとって毎日が発見と学びの連続です。まさに子どもは、学ぶ意欲と学ぶ力をもった有能な学び手です。

ほんこう となり ようちえん ほいくえん かんきょう い こんねんど ようちえん
本校は、隣に幼稚園、保育園があります。この環境を活かして、今年度はさらに幼稚園、保育園との連携を図って、子どもたちの育ちを支援していきます。